

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2. 別途工事

電気設備工事・・・一式

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用になるため、仮囲い等を設置し、事故の無い様
十分注意してください。

③ 児童・職員及び第三者に対する安全確保に努めるとともに、粉塵・騒音及び
振動・ガラ等の飛散に対して十分な配慮を講じてください。

④ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑤ 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止器具の着用は、
「墜落制止器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による
墜落制止器具（フルハーネス型墜落制止器具、胴ベルト型墜落制止器具
及びランヤード等）としています。

5. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。

については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示
のご協力をお願いします。

使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとし、指定の
デザインとする。

「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請」
の提出は不要とする。

使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意す
こと。


大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡すること。

ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。

（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。）

福山市立御幸小学校他 1 校給食調理場冷暖房設備設置工事

| 図 面 リ ス ト | | |
|-----------|-----------------------------|------------|
| 図 番 | 図 面 名 称 | 縮 尺 |
| M / 1 | 機械設備工事仕様書No.1 | N. S |
| M / 2 | 機械設備工事仕様書No.2 | N. S |
| M / 3 | 配置図・付近見取図・凡例（御幸小学校） | N. S、1：500 |
| M / 4 | 給食調理場平面図・屋外機基礎・空調機器表（御幸小学校） | 1：100、1：50 |
| M / 5 | 制御設備 平面図（御幸小学校） | 1：100 |
| M / 6 | 配置図・付近見取図・凡例（泉小学校） | N. S、1：500 |
| M / 7 | 給食調理場平面図・屋外機基礎・空調機器表（泉小学校） | 1：100、1：50 |
| M / 8 | 制御設備 平面図（泉小学校） | 1：100 |
| | | |
| | | |

| | | | | |
|--|--------|------|----|----|
|  福山市教育委員会施設課 | | | | |
| 課員 | 施設担当次長 | 課長補佐 | 課長 | 部長 |
| | | | | |

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事

2 工事場所 福山市御幸町大字森脇140番地 外1か所

3 用途地域 _____

4 防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ・指定なし

5 工事種別 ・新築 ・増築 ・改築 改修

6 敷地面積 _____

7 建物概要 _____

1) 構造 鉄筋コンクリート造

2) 面積 建築面積 _____
延べ面積 _____

| | | |
|-----|--|--|
| 床面積 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3) 附属施設 _____

8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 (小学校)

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。

※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。

※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

| 工 事 種 目 | 工 事 種 目 |
|--------------|------------|
| 1. 給排水衛生設備工事 | 2. 空調設備工事 |
| 1 衛生器具設備工事 | ① 空調設備工事 |
| 2 給水設備工事 | 2 換気設備工事 |
| ② 排水設備工事 | 3 排煙設備工事 |
| 4 給湯設備工事 | 4 自動制御設備工事 |
| 5 消火設備工事 | |
| ③ 厨房機器設備工事 | |
| 6 ガス設備工事 | |
| 8 浄化槽設備工事 | |

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

| | |
|--------|---|
| 給水方式 | ・直結直圧式 ・直結増圧式 ・高置水槽式 ・受水槽方式 |
| 排水方式 | ○ 自然流下 ・ポンプ排水 (・汚物 ・水 ・雑排水) |
| 放流先 | 汚水 ・直放流下水管 ・浄化槽 |
| 雑排水 | ・直放流下水管 ・浄化槽 ・側溝 ・別途排水 |
| 給湯設備 | 方式 (・局所式 ・中央式) 熱源 (・電気 ・都市ガス ・液化石油ガス ・灯油 ・A重油) ・屋内消火栓 ・連絡送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・粉末消火 ・消防用水 ・泡消火 ・連絡放水 ・消火器 ・フード用簡易自動消火 ・二酸化炭素消火 ・不活性ガス消火 |
| ガス設備 | ・都市ガス 種別13A(45MJ/N) ○ 液化石油ガス |
| 浄化槽 | ・小規模合併処理 _____ 合併処理 |
| 空調調方式等 | ○ 空調調和 (・中央ダクト方式 ・各階ユニット方式 ・パッケージ方式) ・ファンコイルユニット、ダクト併用方式 _____) |
| 空気調和 | ・鋼製ボイラー ・鉄製ボイラー ・温水発生機 ・チリングユニット ・空気熱源ヒートポンプユニット ・遠心冷凍機 ・スクリーン冷凍機 ・吸収冷凍機 ・直置き吸収冷凍温水機 ・小形吸収冷凍温水機ユニット ・コージェネレーション装置 ・水蓄熱ユニット ・パッケージ形空調調和機 ○ ガスエンジンパッケージ形空調調和機 |
| 換気設備 | ・1種換気 ・2種換気 ・3種換気 ・全熱交換器 |
| 排煙設備 | ・機械排煙 (・有り ・無し) ・適用法則 (・建基法 ・消防法) |
| 自動制御設備 | ・自動制御方式 (・電気式 ・電子式 ・デジタル式) ・中央監視制御装置 |

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同官庁営繕部監修環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1) 官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承認後とする。)

(2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。

(3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難著しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は※および○印のついたものを適用する。
3 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)

- ・引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの概ね1年後
- ・引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの概ね2年後

| 章 項 目 | 特 記 事 項 |
|-------|---------|
|-------|---------|

① 適用基準等
・公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(平成 年版)
○ 建築基準法、消防法、その他関係法令
○ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
○ 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長連達

② 監理(主任)
受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

3 電気保安技術者
・適用する。 ・適用しない

4 技能士
・適用する。 ・適用しない

| 工 事 別 | 通 用 種 別 | 工 事 別 | 通 用 種 別 |
|-------|---------|----------|------------|
| ・配 管 | 配管施工 | ・冷凍機・空調機 | 冷凍空調調和機器施工 |
| ・保 温 | 熱絶縁施工 | ・風通、換気 | 建築板金施工 |

③ 施工管理
受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)
技術者台帳(施工体制台帳に添付)
監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。

※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)
工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。
また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)

形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。
工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。
図等による環境物品等の調達に連関する法律(平成12年法律第100号、「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

④ 機器材料等
・引渡しを要するもの ()
・現場において再利用を図るもの ()
※ 再資源化を図るもの
・アスファルトコンクリート ・コンクリート ・木材
・コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)、 「資源の有効な利用に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。)、 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。)その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従って適正に処理する。

※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画書、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

| 分類 | 規格 | 撮影枚数 | 提出部数 |
|-----|-----------|--------------------|------|
| 着手前 | L版程度(カラー) | 必要に応じた数 | 1 |
| 工事中 | L版程度(カラー) | 必要に応じた数 | 1 |
| 完成時 | L版程度(カラー) | 各 室 4 面 外 景 4 面 | 1 |

⑤ 発生材の処理
建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量写真等を監督員に提出する。
○ 各種写真は、写真機(A4版)にて工事完成時に提出する。
○ 原紙等の提出 する (・完成時のみ ・全て) ○ しない
○ 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。

⑥ 工事及び完成写真

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量写真等を監督員に提出する。
○ 各種写真は、写真機(A4版)にて工事完成時に提出する。
○ 原紙等の提出 する (・完成時のみ ・全て) ○ しない
○ 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。

| 工 事 別 | 通 用 種 別 | 工 事 別 | 通 用 種 別 |
|-------|---------|----------|------------|
| ・配 管 | 配管施工 | ・冷凍機・空調機 | 冷凍空調調和機器施工 |
| ・保 温 | 熱絶縁施工 | ・風通、換気 | 建築板金施工 |

| 工 事 別 | 通 用 種 別 | 工 事 別 | 通 用 種 別 |
|-------|---------|----------|------------|
| ・配 管 | 配管施工 | ・冷凍機・空調機 | 冷凍空調調和機器施工 |
| ・保 温 | 熱絶縁施工 | ・風通、換気 | 建築板金施工 |

⑦ 機器性能
⑧ 電気容量
⑨ 防火区画の貫通処理
⑩ 溶接配管の検査
⑪ 非破壊検査の適用 ※ 無し
⑫ 抜取率は、標準仕様書による
⑬ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
⑭ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
⑮ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
⑯ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

① 完成時の提出図書
速やかに次の図書を提出する。
竣工図 (・A3版2つ折りにして製本) _____ 部
完成図 ○ 施工図
○ 安全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
竣工図電子データ(施工図含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)
○ CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による。)
10 関連工事等の調整等
施工範囲「工事区分表」による。
※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。
建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。
・本工事で設置する。
・内部足場 (・単管足場 ・枠組足場 ・脚立足場)
・外部足場 (・枠組足場 ・単管足場)
※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
11 足場
・同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべきとして本工事現場代理人を指名する。
・本工事は、交通誘導員として _____ 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施位置(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の期日を除く。

| 請負金額 | 工事受注時 | 登録内容の変更時 | 工事完成時 |
|---------|----------|------------|------------|
| 500万円以上 | 契約後10日以内 | 変更契約後10日以内 | 工事完成後10日以内 |

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負金のみ変更の場合、登録不要)
※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
なお、変更時と工事完成時の間が10日未満な場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)
下記項目の測定を行ない監督員に提出する(1部)
○ 温度 ○ 湿度 ・風量 ○ 騒音 ・振動 ・気流 ・塵埃
・飲料水(給用水)の水質 ・浄化槽の放流水質 ・化学物質の濃度
測定箇所等は、監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。
標準仕様書によるほか下記による。
・運転ブロック図に適合するものとする。
・ボイラー及び冷凍温水機等の附属装置の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・機器表特記による
⑬ 測定表
⑭ 説明板
⑮ 電線類
⑯ 機器付属の制御盤
⑰ 防振継手
⑱ 埋設表示
⑲ はつり工事
⑳ 補修など
㉑ 支持金物・固定金具
㉒ 耐震施工
㉓ 保温材
㉔ 鋼管類の地中埋設
㉕ 鋼管類の地中埋設(コンクリート内等)
㉖ 塗装
㉗ スリーブ
㉘ 機器性能
㉙ 電気容量
㉚ 防火区画の貫通処理
㉛ 溶接配管の検査
㉜ 非破壊検査の適用 ※ 無し
㉝ 抜取率は、標準仕様書による
㉞ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
㉟ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
㊱ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
㊲ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

⑩ 竣工中の安全確保
⑪ 足場
⑫ 施工中の安全確保
⑬ 測定表
⑭ 説明板
⑮ 電線類
⑯ 機器付属の制御盤
⑰ 防振継手
⑱ 埋設表示
⑲ はつり工事
⑳ 補修など
㉑ 支持金物・固定金具
㉒ 耐震施工
㉓ 保温材
㉔ 鋼管類の地中埋設
㉕ 鋼管類の地中埋設(コンクリート内等)
㉖ 塗装
㉗ スリーブ
㉘ 機器性能
㉙ 電気容量
㉚ 防火区画の貫通処理
㉛ 溶接配管の検査
㉜ 非破壊検査の適用 ※ 無し
㉝ 抜取率は、標準仕様書による
㉞ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
㉟ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
㊱ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
㊲ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

⑰ 耐震施工
⑱ 埋設表示
⑲ はつり工事
⑳ 補修など
㉑ 支持金物・固定金具
㉒ 耐震施工
㉓ 保温材
㉔ 鋼管類の地中埋設
㉕ 鋼管類の地中埋設(コンクリート内等)
㉖ 塗装
㉗ スリーブ
㉘ 機器性能
㉙ 電気容量
㉚ 防火区画の貫通処理
㉛ 溶接配管の検査
㉜ 非破壊検査の適用 ※ 無し
㉝ 抜取率は、標準仕様書による
㉞ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
㉟ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
㊱ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
㊲ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

⑳ 補修など
㉑ 支持金物・固定金具
㉒ 耐震施工
㉓ 保温材
㉔ 鋼管類の地中埋設
㉕ 鋼管類の地中埋設(コンクリート内等)
㉖ 塗装
㉗ スリーブ
㉘ 機器性能
㉙ 電気容量
㉚ 防火区画の貫通処理
㉛ 溶接配管の検査
㉜ 非破壊検査の適用 ※ 無し
㉝ 抜取率は、標準仕様書による
㉞ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
㉟ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
㊱ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
㊲ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

㉛ 溶接配管の検査
㉜ 非破壊検査の適用 ※ 無し
㉝ 抜取率は、標準仕様書による
㉞ 測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
㉟ 測定対象室 () ・測定箇所 ()
㊱ 事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
㊲ 工事着手に先立ち、設計図面(A3反縮小)製本を提出する。 _____ 部

1 工事現場仮囲い
2 受注者事務所等
3 工事用水
4 工事用電力
5 引渡しまでの光熱水費

・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ・鋼製仮囲い ・しない
・敷地内に建てることできる。
構内既存の施設 ・有償で利用できる ○ 無償で利用できる ・利用できない(計測器設置等)
構内既存の施設 ・有償で利用できる ○ 無償で利用できる ・利用できない(計測器設置等)
・本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・別途
・本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・別途

1 衛生陶器附属品
2 大便器
3 小便器
4 大便器洗浄弁
5 洗浄用タンク
6 便座
7 化粧棚
8 化粧鏡
9 和風便器耐火カバー
10 手洗器
11 洗面器
12 紙巻器

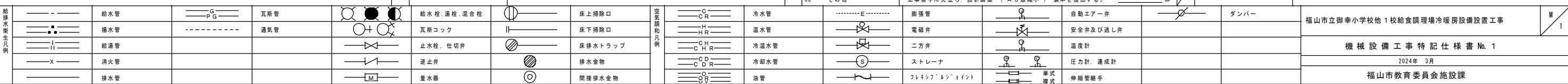
・和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は繊維材塗装加工とする。
・国産陶器品番 JIS記号 ・国産陶器品番 TOTO記号(同等品以上)
・フラッシュバルブ ・ロータンク
・フラッシュバルブ ・自動洗浄(個別・集電)
・バキュームブレイカー付
・陶器製 ・防臭形陶器製 ・合成樹脂製 ・防臭形合成樹脂製
・普通便座 (・蓋有り ・蓋無し) ・温水洗浄便座 ・暖房便座
・陶器製 ・金属製
・化粧鏡 ・耐食鏡 ・盗難防止形
・設ける(ビットは除く) ・設けない
止水栓付
止水栓付
埋工時ペーパーを設置する
(・ファンタツチ式 ・ファンハンドカット式)
・台所流し用水栓は、泡沫式とする。 ・止水栓
竣工時水セッケンを補充する。
・陶器付形 ・雙付形
・埋込形 ・雙付形

(屋 内)
1 給水方式
2 管
3 弁
4 フレキシブルジョイント
5 伸縮管継手
6 高置水槽
7 受水槽
8 鋼板製水槽の防錆
9 増圧給水ポンプ
10 ポンプ基礎

・直結直圧式 ・直結増圧式 ・高置水槽式 ・受水槽方式
・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・HIVP ・VP)
・業種ポリエチレン管 (JIS K 6769, JIS K 6787)
・ポリブテン管 (JIS K 6778, JIS K 6792)
・ポリエチレン管 (JIS K 6762, JWWA K 144)
・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・ステンレス製ベローズ形 ・合成ゴム製円筒形
・ベローズ形単式 ・ベローズ形複式
・FRP製 (サンドイッチ構造) ・FRP製
・鋼板製 (・パネル形 ・一体形) ・ステンレス製パネル (・溶接 ・ボルト)
・FRP製 (サンドイッチ構造) ・FRP製
・鋼板製 (・パネル形 ・一体形) ・ステンレス製パネル (・溶接 ・ボルト)
・エポキシ樹脂コーティング ・亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
・ 40 φ × 37 L / min × 13 m × 1.1×2 kW × 1 台
・標準 型 ・防振 型

(屋 外)
11 管
12 弁
13 弁機
14 量水器
15 量水器併
16 埋設深さ
17 建物導入部配管
18 雨量メーター
19 その他

・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・HIVP ・VP)
・ポリエチレン管 (JIS K 6762, JWWA K 144)
・業種ポリエチレン管 (JIS K 6769, JIS K 6787)
・ポリブテン管 (JIS K 6778, JIS K 6792)
・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・市規格品 ・VCF形 ・市販品
・買入 ・備用
・水道局規格品 ・MCF形
・300mm以上(車両道路以外) ・600mm以上(車両道路) ・凍結深度(400mm)以上
・標準図による。
・変位を吸収できるようにスリークッションとする。
・リモート型 ・流量計 台
鋼管の場合は管端コア付継手等を使用する。
給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
水圧試験は配管途中、隠へ埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前に、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。
・配管工事に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。
・飲料水以外の給水管は、該接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。



| | | | |
|------|----|-------------------|--|
| 排水設備 | 1 | (屋内) 管 (第1棟まで) | ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 排水用給管 (SHASE-S203) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP |
| | 2 | 通気管 | ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 |
| | 3 | 満水試験継手 | 3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。 |
| | 4 | ピット内配管保温 | ・ 施工する ・ 施工しない |
| | 5 | (屋外) | |
| | 6 | 方式 | ○ 自然排水 ・ ポンプ排水 |
| | 7 | 管 | ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (○ VP ※ VU) |
| | 8 | インバート製 | ・ SA, AB形 ・ SC形 ・ 小口径 |
| | 9 | インバート製用蓋 | ・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) |
| | 10 | 排水用蓋 | ・ RA, RB形 ・ 30型 ・ 小口径 ・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 O 6m/m |
| | 11 | 埋設深さ | ・ 300mm以上 (車両道路以外) ・ 600mm以上 (車両道路) ・ 勾配因による。 |
| | 12 | その他 | ・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。 |

| | | | |
|------|---|------|---|
| 給湯設備 | 1 | 方式 | ・ 単管式 ・ 復管式 |
| | 2 | 管 | ・ 鋼管 (JIS H 3300) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 架構ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 |
| | 3 | 弁 | ・ JIS 10K ・ JIS 5K |
| | 4 | 熱源 | ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 銅板製 () |
| | 5 | 膨張水槽 | ・ ステンレス製 () ・ 銅板製 () |
| | 6 | その他 | ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。 |

| | | | |
|------|---|-----------|--|
| 消火設備 | 1 | 管 | ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS ※ 消火用配管は、消防法令に適合するものとする。 |
| | 2 | 弁 | ・ JIS 10K |
| | 3 | 消火栓箱 | ・ 総合形 (・ HB-1A・HB-1B) ・ 単独形 (・ HB-2A・HB-2B) ・ 総合形 (・ HB-4A・HB-4B) ・ 消火器箱併設形 (・ HB-1AS・HB-1BS) |
| | 4 | 水源用水槽 | ・ ステンレス製 () ・ 銅板製 () |
| | 5 | 消火ポンプユニット | ・ 認定型 65 φ × 300 L/min × 61 m 5.5 kW × 1 台 |
| | 6 | ポンプ基礎 | ・ 標準型 ・ 防振型 |
| | 7 | 消火器 | ・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共 |
| | 8 | 保温 | イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する |
| | 9 | その他 | 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。 |

| | | | |
|-------|---|-------|---|
| 浄化槽設備 | 1 | 処理種別 | ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (・ BOD mg/以下 ・ COD mg/以下 ・ T-N mg/以下 ・ T-P mg/以下) |
| | 2 | 構造 | ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 () |
| | 3 | 形式・容量 | ・ ユニット型 () 型 人槽 /日 ・ 現場施工型 () 人槽 /日 |
| | 4 | 排水方式 | ・ 自然排水 ・ ポンプ排水 () |
| | 5 | マンホール | ・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品 |
| | 6 | その他 | 工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。 |

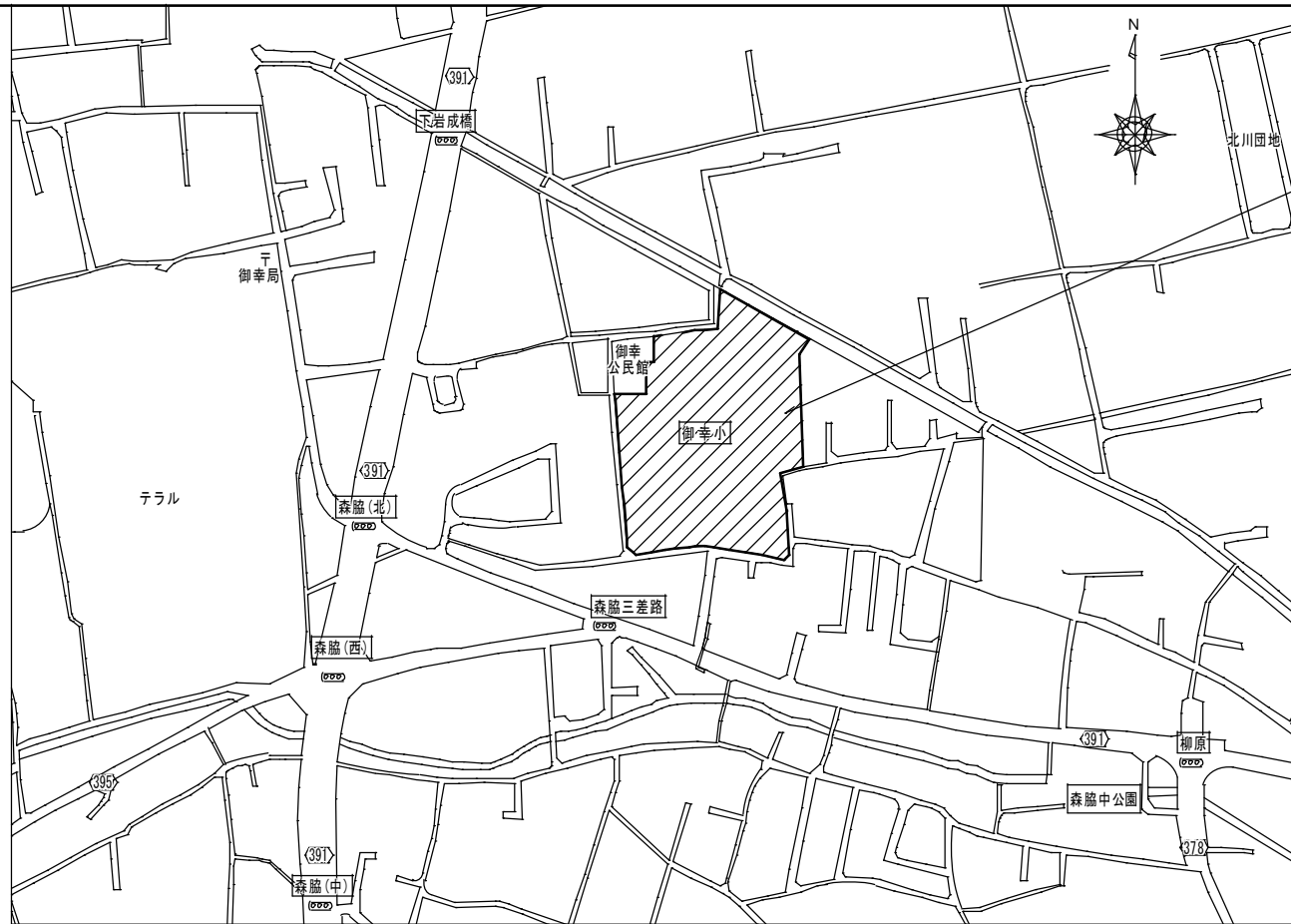
| | | | |
|------|---|------------|--|
| ガス設備 | 1 | 種別 | ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス (御幸小、泉小) |
| | 2 | 管 | ○ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ○ ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・ 塩化ビニル被覆鋼管 ○ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ○ PLS継手同等品以上・溶接継手 ・ () kg × () kg ・ 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () kg ・ 壁型 ・ 機型 ・ 別図による ・ 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻し又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。 |
| | 3 | 継手 | |
| | 4 | プロパンガス集合装置 | |
| | 5 | 機器等 | |
| | 6 | 遮断装置等 | |
| | 7 | その他 | |

| 空調設備 | 1 | 設計条件 | <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条 件</th> <th colspan="2">屋 外</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>春 季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>夏 季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <small>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</small> | 条 件 | 屋 外 | | 屋 内 | | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 春 季 | 35.0 °C | 67.1 % | 28.0 °C | 50.0 % | 夏 季 | 0.1 °C | 71.5 % | 19.0 °C | 40.0 % |
|------|-----------|--|--|---------|---------|--|-----|--|---------|---------|---------|---------|-----|---------|--------|---------|--------|-----|--------|--------|---------|--------|
| | 条 件 | 屋 外 | | | 屋 内 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 春 季 | 35.0 °C | 67.1 % | 28.0 °C | 50.0 % | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 夏 季 | 0.1 °C | 71.5 % | 19.0 °C | 40.0 % | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管 | ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ○ 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 高気・油管及び冷媒管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 | ブライン管 | ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 | 給水及び排水管 | 給、排水設備の項による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン | ・ 床置形 ○ 天井形 (○ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | フレキシブルジョイント | ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 吹出口・吸込口 | ・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 防塵・防火ダンパー | ・ 防塵ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防塵防火ダンパー (SFD) ・ 防塵ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 風道 | ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 冷温水管の空気抜 | 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜きを設ける。自動空気抜きは、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ○ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------|---|-----------|--|
| 換気設備 | 1 | ダクト | 低圧ダクト (・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) |
| | 2 | 風量測定口 | 取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。 |
| | 3 | ダンパー | 空気調和設備の当該項目による。 |
| | 4 | 排気ダクトのシール | ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 |
| | 5 | チャンバー | 空気調和設備の当該項目による。 |
| | 6 | 保温 | 下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用ダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・ 厨房・湯沸室) のダクト (仕様はh・(イ)・Ⅱとし範囲は図示による。) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm) |

| | | | |
|--------|---|----------|---------------------------------|
| 自動制御設備 | 1 | 中央監視制御装置 | ・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し |
| | 2 | 電源装置 | ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 |
| | 3 | 計装工事の記録 | 屋外、屋内露出の記録は、図面に特記のない限り金属管記録とする。 |

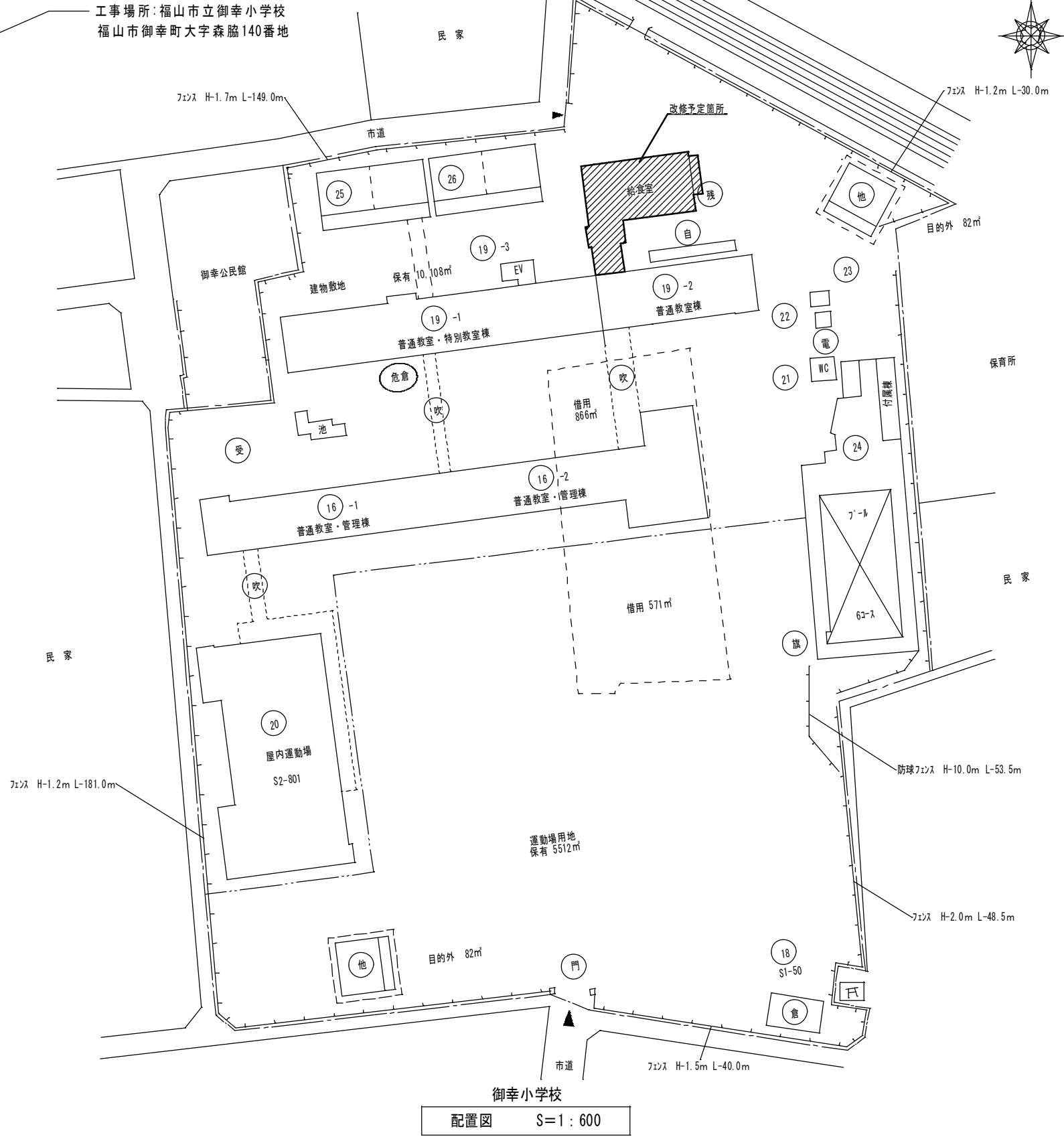
| 特記事項 | 1 | 広島県工事中情報共有システムへの登録 | 受注者は、次表に従い、情報共有システムへ登録し利用する。 <table border="1"> <tr> <th>金 額</th> <th>利用形態</th> </tr> <tr> <td>設計金額3,500万円以上</td> <td>発注者指定型</td> </tr> <tr> <td>当初契約金額500万円以上</td> <td>受注者希望型</td> </tr> </table> 本工事で利用する情報共有システム (広島県工事中情報共有システム) http://www.hdbokuk.or.jp/koujijyousisutemu2.html 受注者は、情報共有システムの利用の有無について、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し決定すること。 受注者は、情報共有システムを利用する場合、(一社)広島県土木協会に利用申し込みを行い利用料を支払うこと。 情報共有システムの利用は次によること。 ・ 福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領 (建築工事) ・ 情報共有システム利用手引 (建築工事) | 金 額 | 利用形態 | 設計金額3,500万円以上 | 発注者指定型 | 当初契約金額500万円以上 | 受注者希望型 |
|------|---|---|--|-----|------|---------------|--------|---------------|--------|
| | 金 額 | 利用形態 | | | | | | | |
| | 設計金額3,500万円以上 | 発注者指定型 | | | | | | | |
| | 当初契約金額500万円以上 | 受注者希望型 | | | | | | | |
| | 2 | 空調機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| | 3 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| | 4 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| | 5 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| | 6 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| | 7 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | |
| 8 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | | |
| 9 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | | |
| 10 | 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の (100) %を予備品 (持付) として納める。 | | | | | | | | |



付近見取図

| 凡例 | | |
|------------|------|--------------------------------------|
| 記号 | 名称 | 摘要 |
| —R— | 冷媒管 | 断熱材被覆銅管 (製造者標準品) |
| —D— | ドレン管 | 一般配管: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出配管: カラーVP |
| —G— | ガス管 | 配管用炭素鋼銅管 (白) |
| ---(**)--- | 既設管 | |

- 【特記事項】
- 冷媒管保温材厚さは、液管: 10 mm、ガス管: 20 mmとする。
 - 屋内外機間の連絡線は本工事とする。
 - 一次電源、アース及び接地工事は別途工事とする。
 - リモコンの配管配線工事は本工事とする。
 - 屋外、屋内の露出配管はSUSラッキングとする。
 - 屋内機のドレン管はドレン用逆止弁取付後、堅樋に間接続とする。但し、堅樋の無い箇所は雨水樹に接続とする。
 - 屋外機のドレン管は雨水樹に接続とする。



御幸小学校
配置図 S=1:600

変更年月日・変更事項

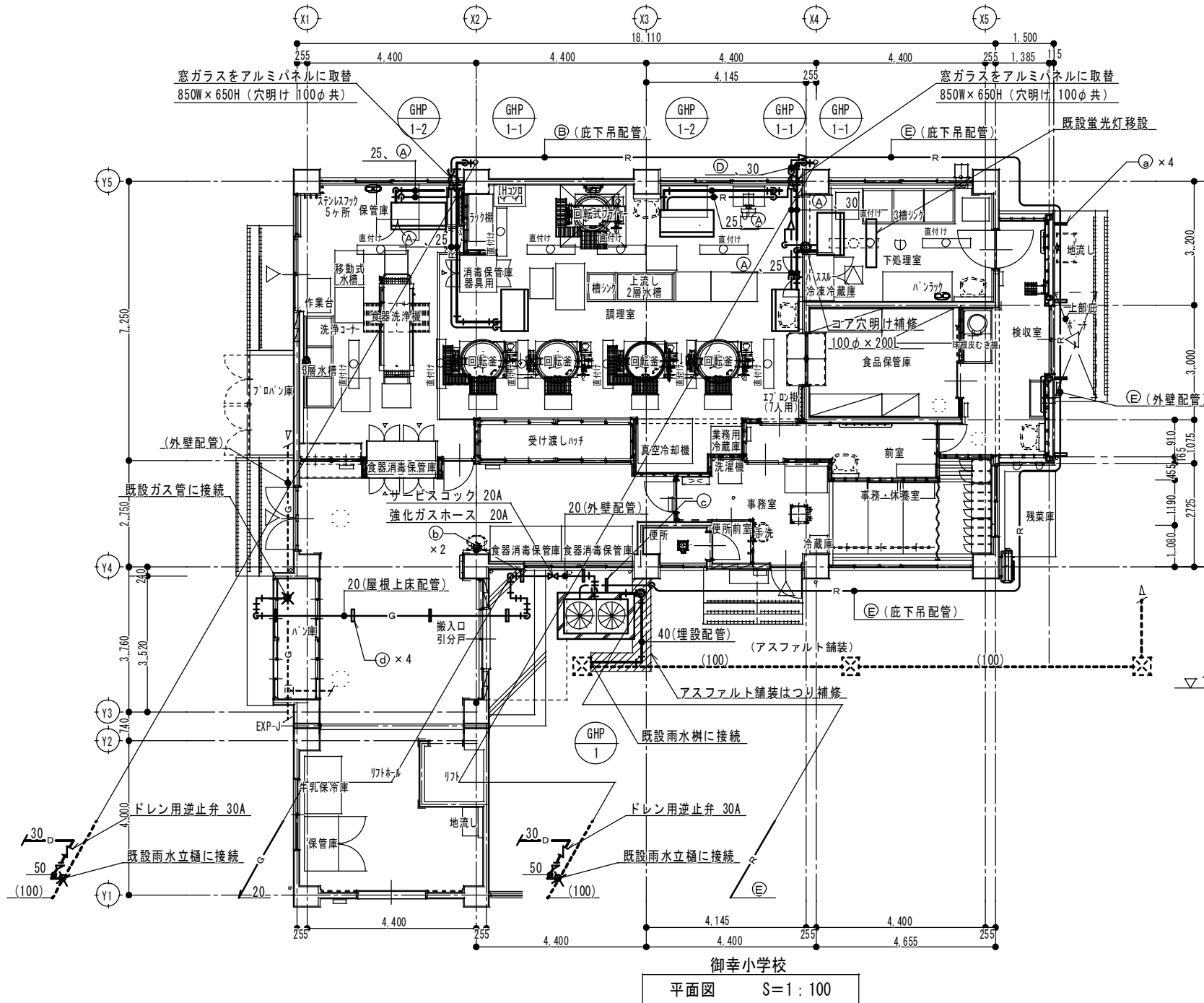
福山市教育委員会施設課

AME
エイ・エム・イー 株式会社
〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第5281号
一級建築士 第101759号 花房 志保里

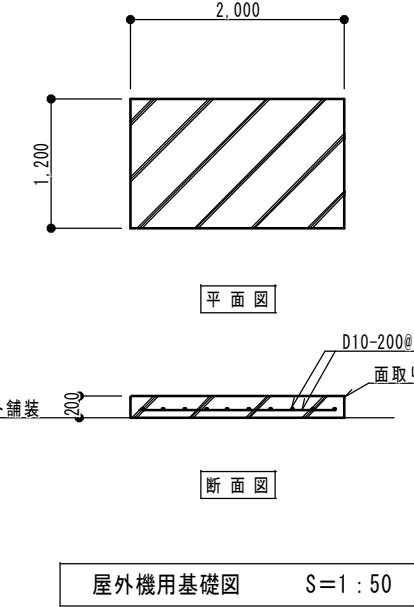
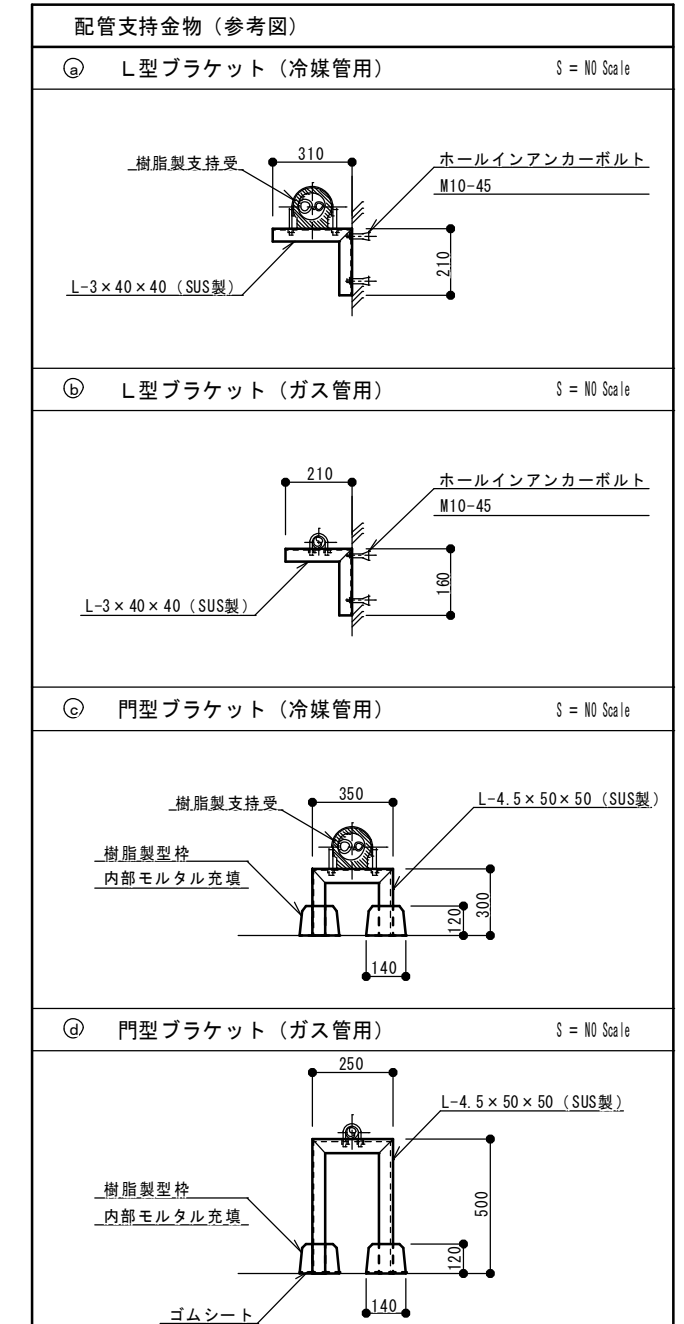
設計者
工事名称
福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事
図面名称
配置図・付近見取図・凡例 (御幸小学校)
年 月 日
縮尺率
A-2: 100%
A-3: 71%
縮尺
1:600
工事種別
機械
図面番号
M-03

| 空調機器表 | | | | | | |
|---------|------------------------|---|-----------------------------------|----|-----------------------|---|
| 記号 | 名称 | 仕様 | 電気容量 | 数量 | 設置場所 | 備考 |
| GHP-1 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋外機) | 形式 ヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW ガス種別 LPG ガス消費量 冷房: 49.4 kW 暖房: 44.6 kW 付属品 防振ゴムパット 防護ネット | 電源 3φ 200V 送風機 0.36 kW+0.42 kW | 1 | 屋外 | 参考型番 GXUAP560G 側面吸込の熱交換フィンに指等当たってのけが防止を施すこと。 |
| GHP-1-1 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機) | 形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 8.0 kW 暖房能力 9.0 kW 付属品 防振吊金具、振れ止め支持金具 予備フィルター (100%) | 電源 1φ 200V 送風機 0.06 kW | 3 | 調理室 (2台) 下処理室 (1台) | 参考型番 FGXP80M |

| 空調機器表 | | | | | | |
|---------|------------------------|---|---------------------------|----|-------------------------|---------------|
| 記号 | 名称 | 仕様 | 電気容量 | 数量 | 設置場所 | 備考 |
| GHP-1-2 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機) | 形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 付属品 防振吊金具、振れ止め支持金具 予備フィルター (100%) | 電源 1φ 200V 送風機 0.13 kW | 2 | 調理室 (1台) 洗浄コーナー (1台) | 参考型番 FGXP140M |
| | リモコン | メーカー標準品 | | 3 | 調理室 洗浄コーナー 下処理室 | |

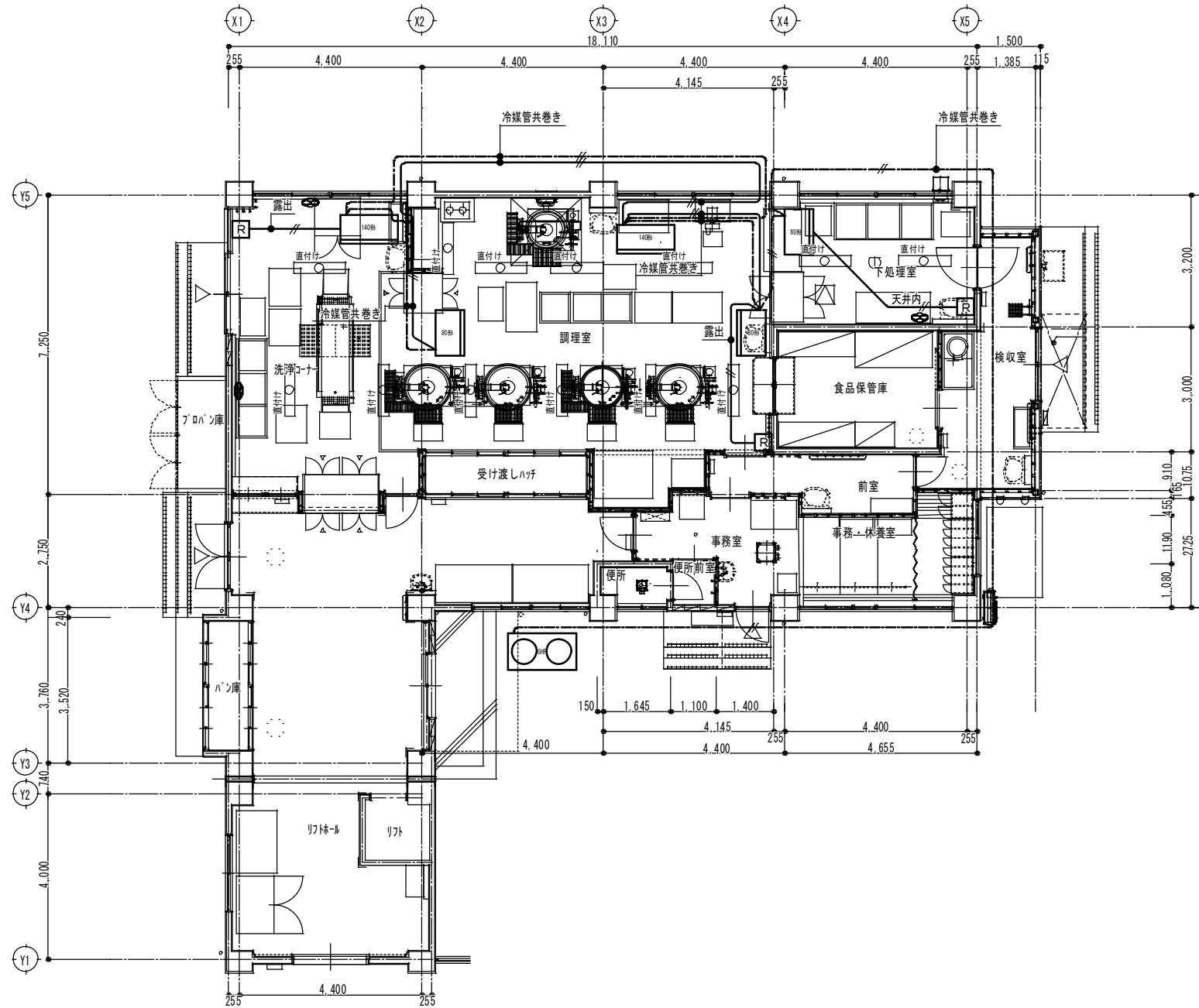


| 冷媒管リスト (参考) | | |
|-------------|-------|-------|
| 記号 | 液管 | ガス管 |
| A | φ9.5 | φ15.9 |
| B | φ9.5 | φ19.1 |
| C | φ9.5 | φ22.2 |
| D | φ12.7 | φ28.6 |
| E | φ15.9 | φ28.6 |

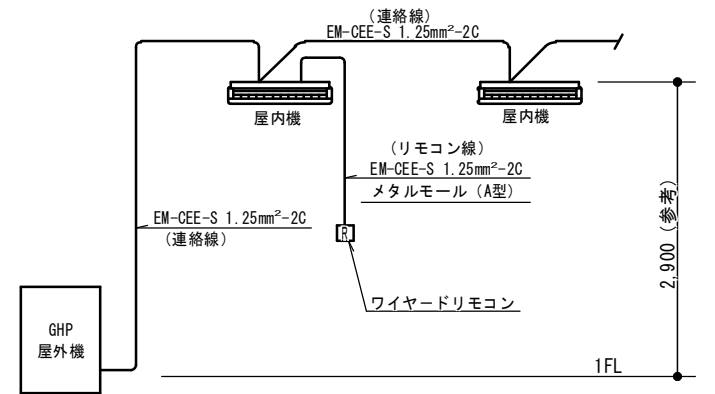


凡 例

| 記号 | 摘要 | 備考 |
|----------|-------------|----------------------------------|
| ---//--- | 屋内機～屋外機間連絡線 | EM-CEE-S 1.25mm ² -2C |
| ---//--- | リモコン線 | EM-CEE-S 1.25mm ² -2C |
| [R] | ワイヤードリモコン | |



御幸小学校
平面図 S=1:100



GHP屋外機～室内機間連絡配線参考図

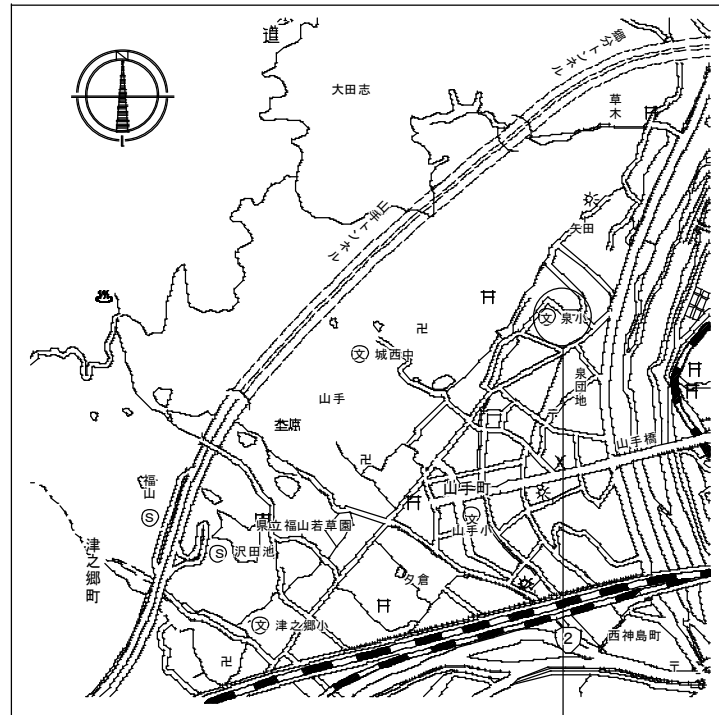
| | |
|------------|--|
| 変更年月日・変更事項 | |
| | |
| | |
| | |

福山市教育委員会施設課

AME
 エイ・エム・イー 株式会社
 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
 一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第5281号
 一級建築士 第101759号 花房 志保里

設計者

| | | | |
|----------------------------|-------|-----------------------|------|
| 工事名称 | 年月日 | 縮尺率 | 工事種別 |
| 福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事 | | A-2: 100% A-3: 71% | 機械 |
| 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | |
| 制御設備 平面図 (御幸小学校) | 1:100 | M-05 | |

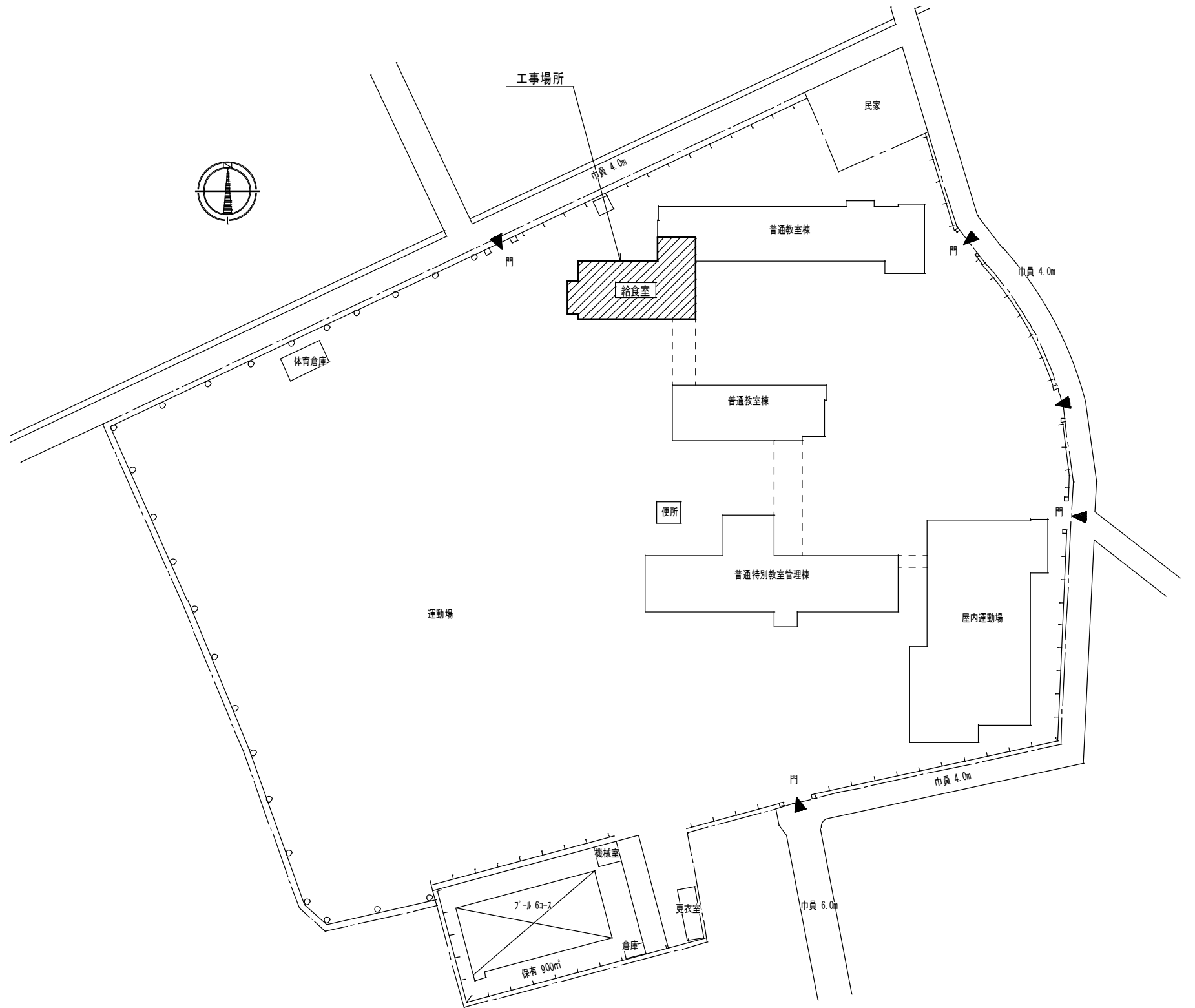


付近見取図

| 凡例 | | |
|------------|------|------------------------------------|
| 記号 | 名称 | 摘要 |
| —R— | 冷媒管 | 断熱材被覆銅管 (製造者標準品) |
| —D— | ドレン管 | 一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出配管：カラーVP |
| —G— | ガス管 | 配管用炭素鋼管 (白) |
| ---(**)--- | 既設管 | |

【特記事項】

- 冷媒管保温材厚さは、液管：10mm、ガス管：20mmとする。
- 屋内外機間の連絡線は本工事とする。
- 一次電源、アース及び接地工事は別途工事とする。
- リモコンの配管配線工事は本工事とする。
- 屋外、屋内の露出配管はSUSラッキングとする。
- 屋内機のドレン管はドレン用逆止弁取付後、壁樋に間接続とする。但し、壁樋の無い箇所は雨水樹に接続とする。
- 屋外機のドレン管は雨水樹に接続とする。



泉小学校
配置図 S=1:600

変更年月日・変更事項

福山市教育委員会施設課



アイ・エム・イー 株式会社

〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第5281号
一級建築士 第101759号 花房 志保里

設計者

工事名称

福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事

図面名称

付近見取図・配置図・凡例 (泉小学校)

年月日

縮尺率

A-2: 100%
A-3: 71%

縮尺

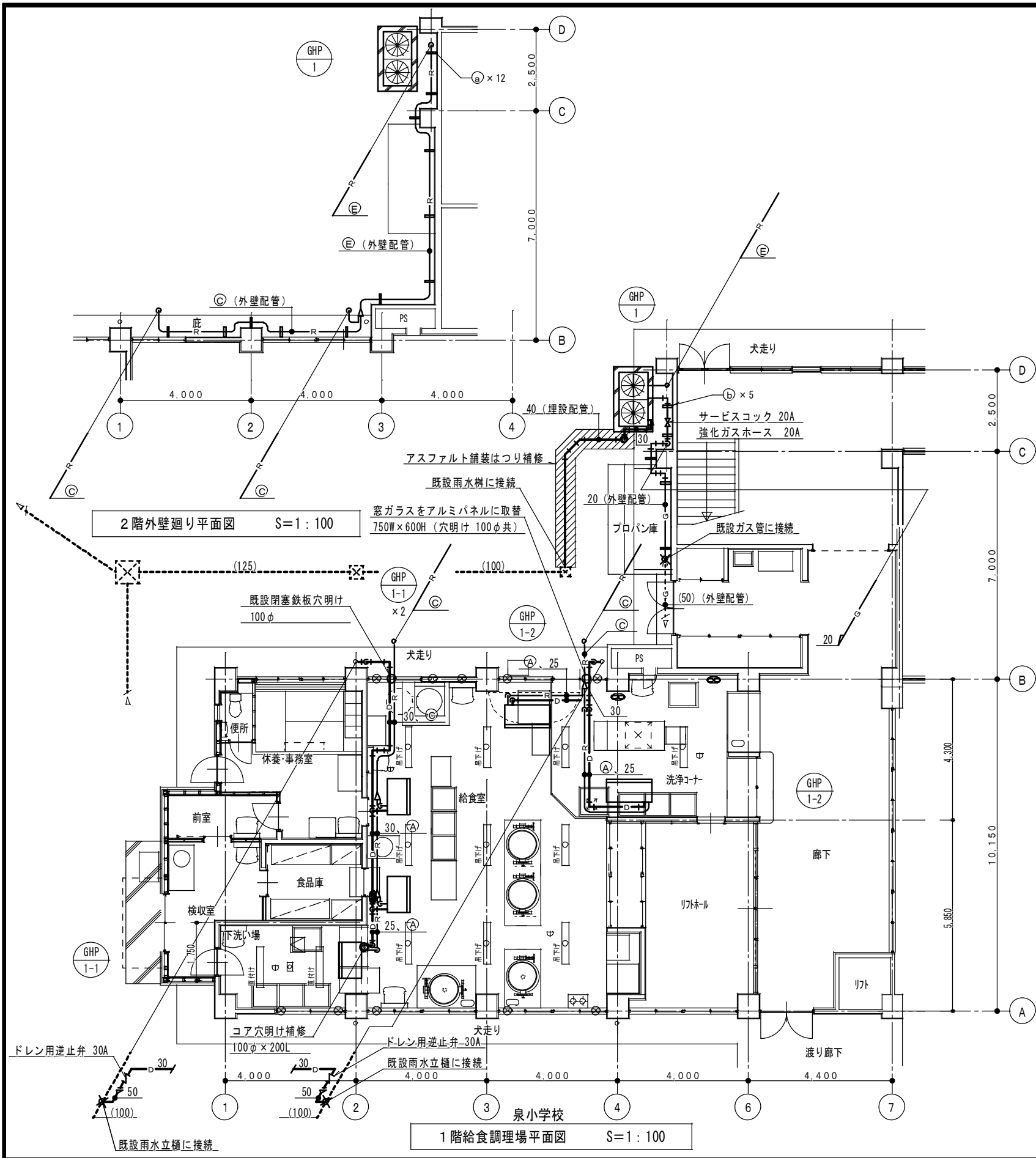
1:600

工事種別

機械

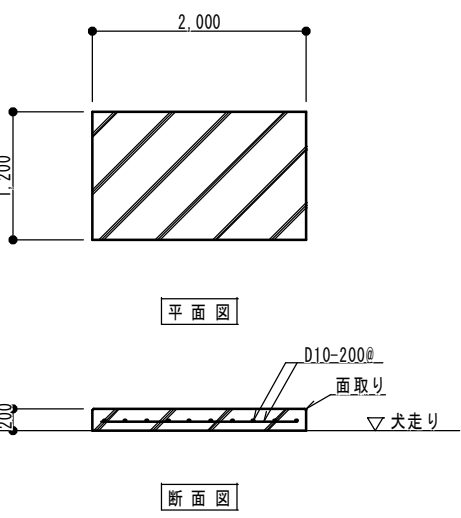
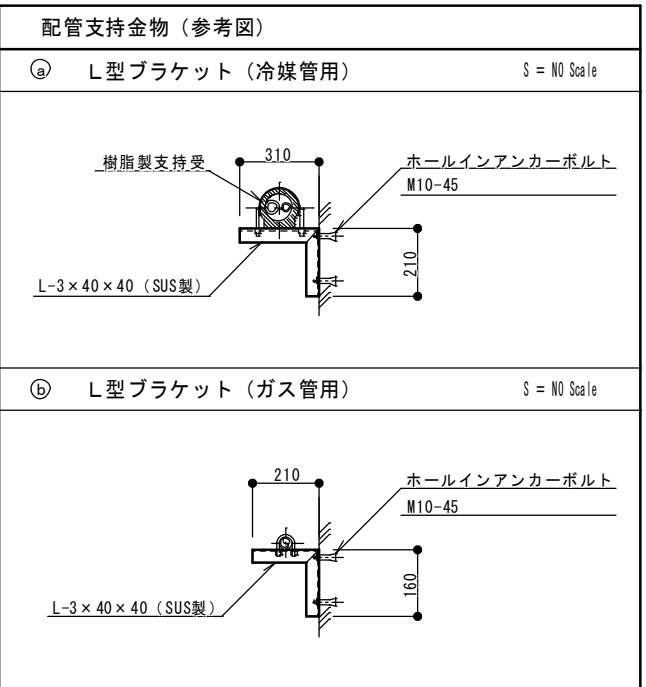
図面番号

M-06



| 記号 | 名称 | 仕様 | 電気容量 | 数量 | 設置場所 | 備考 |
|---------|------------------------|--|---------------------------------------|----|-------------------------|--|
| GHP-1 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋外機) | 形式 ヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW ガス種別 LPG ガス消費量 冷房: 49.4 kW 暖房: 44.6 kW 付属品 防振ゴムパット 防護ネット | 電源 3φ 200V 送風機 0.36 kW+ 0.42 kW | 1 | 屋外 | 参考型番 GXUAP560G 側面吸込の熱交フィンに指等当たってのけが防止を施すこと。 |
| GHP-1-1 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機) | 形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 8.0 kW 暖房能力 9.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%) | 電源 1φ 200V 送風機 0.06 kW | 3 | 給食室 (2台) 下洗い場 (1台) | 参考型番 FGXTP80M |
| GHP-1-2 | ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機) | 形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%) | 電源 1φ 200V 送風機 0.13 kW | 2 | 給食室 (1台) 洗浄コーナー (1台) | 参考型番 FGXTP140M |
| | リモコン | メーカー標準品 | | 3 | 給食室 洗浄コーナー 下洗い場 | |

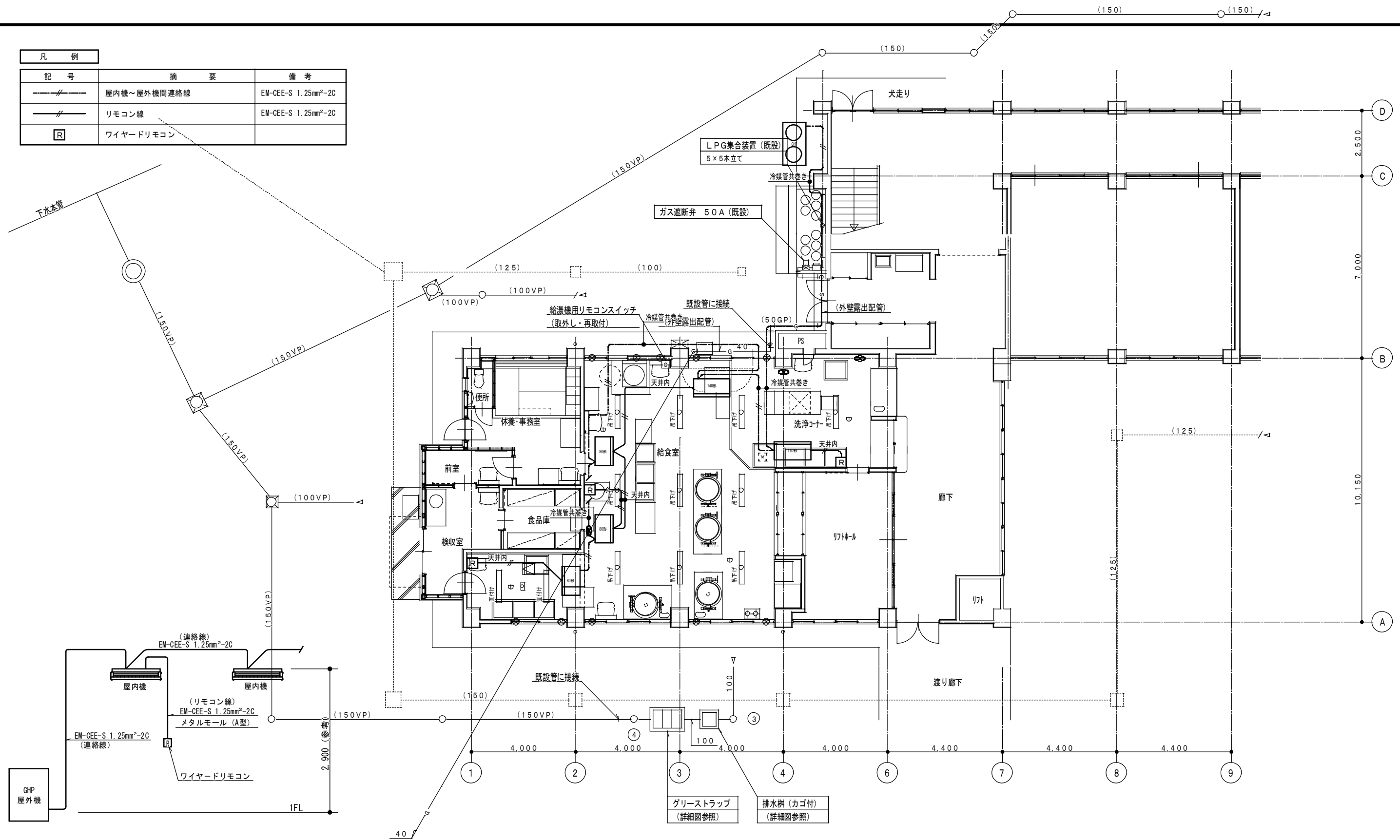
| 記号 | 液管 | ガス管 |
|-----|--------|--------|
| (A) | φ 9.5 | φ 15.9 |
| (B) | φ 9.5 | φ 19.1 |
| (C) | φ 9.5 | φ 22.2 |
| (D) | φ 12.7 | φ 28.6 |
| (E) | φ 15.9 | φ 28.6 |



屋外機用基礎図 S=1:50

| | |
|------|---------------------|
| 強度 | 24 N/m ³ |
| スランプ | 15 cm |
| 骨材 | 20 mm |

| 凡 例 | | |
|-----|-------------|----------------------------------|
| 記号 | 摘要 | 備考 |
| | 屋内機~屋外機間連絡線 | EM-CEE-S 1.25mm ² -2C |
| | リモコン線 | EM-CEE-S 1.25mm ² -2C |
| | ワイヤードリモコン | |



GHP屋外機~室内機間連絡配線参考図

平面図 S=1:100

| | | | | | | | |
|------------|-------------|--|-----|------------------------------------|--------------|--------------------------------|------------|
| 変更年月日・変更事項 | 福山市教育委員会施設課 | AME エイ・エム・イー 株式会社 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号 一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1) 第5281号 一級建築士 第101759号 花房 志保里 | 設計者 | 工事名称 福山市立御幸小学校他1校給食調理場冷暖房設備設置工事 | 年月日 年 月 日 | 縮尺率 A-2 : 100% A-3 : 71% | 工事種別 機械 |
| | | | | 図面名称 制御設備 平面図 | 縮尺 1:100 | 図面番号 M-08 | |

参考数量書

§ 工事名称 福山市立御幸小学校他 1 校給食調理場冷暖房設備設置工事

§ 工事場所 福山市御幸町大字森脇 1 4 0 番地 外 1 か所

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市立御幸小学校他 1 校給食調理場冷暖房設備設置工事

工事場所 福山市御幸町大字森脇 1 4 0 番地 外1か所

【工事概要】

・冷暖房設備工事 ~ 一式
・ガス設備工事 ~ 一式

・御幸小学校
・泉小学校

別途工事
・電気設備工事 ~ 一式

工事費内訳

| 名 称 | 数 量 | 単 位 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|-----|-----|-----|-----------|
| 直接工事費 | | | | |
| 直 接 工 事 費 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| 共通費 | | | | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| 工事価格 | 1 | 式 | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | 消費税率 10 % |
| 工事費 | 1 | 式 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

直接工事費種目別内訳

| 名 称 | 数 量 | 単 位 | 金 額 | 備 考 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 機械設備工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 機械設備工事 | | | | | |
|------------|----------|----|----|----|----|
| 科目名称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
| 冷暖房設備（御幸小） | 機器設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（御幸小） | 配管設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（御幸小） | 液化石油ガス設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（御幸小） | 発生材処理 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 冷暖房設備（泉小） | 機器設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（泉小） | 配管設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（泉小） | 液化石油ガス設備 | 1 | 式 | | |
| 冷暖房設備（泉小） | 発生材処理 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

直接工事費細目別内訳

| 機械設備工事 | | 冷暖房設備(御幸小) | | 配管設備 | | |
|-------------------------|-----------------------------|------------|----|------|----|----|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 冷媒管 | 9.5 / 15.9 | 15 | m | | | |
| 冷媒管 | 9.5 / 19.1 | 11 | m | | | |
| 冷媒管 | 12.7 / 28.6 | 2 | m | | | |
| 冷媒管 | 15.9 / 28.6 | 35 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 屋内一般 25A | 14 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 屋内一般 30A | 3 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 地中配管 40A | 3 | m | | | |
| カーVP | 屋内一般 30A | 1 | m | | | |
| カーVP | 屋内一般 50A | 1 | m | | | |
| 冷媒管 保温 | グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 125A | 63 | m | | | |
| ドレン用逆止弁 | 30A | 2 | 個 | | | |
| アルミ補取付 | 寸法 850W×650H 厚さ 3mm ガラス撤去共 | 2 | か所 | | | |
| 機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口) | 200mm程度 100mm | 1 | か所 | | | |
| 雨水樹接続 | 40A | 1 | か所 | | | |
| 雨水立樋接続 | 100A | 2 | か所 | | | |

直接工事費細目別内訳

| 機械設備工事 | | 冷暖房設備(御幸小) | | 配管設備 | | |
|-----------------|--|------------|----------------|------|----|----|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 配管支持金物 | L型ブラケット 310×210 SUS L-3×40×40 | 4 | か所 | | | |
| 配管支持金物 | 門型ブラケット 350×300 SUS L-3×40×40 樹脂製型枠 | 1 | か所 | | | |
| 養生(内部改修) | 個別改修 | 125 | m ² | | | |
| EM-CEE-Sケ-ブル | 1.25mm2- 2C ビット・天井 | 100 | m | | | |
| EM-CEE-Sケ-ブル | 1.25mm2- 2C 管内 | 5 | m | | | |
| 1種金属線び(MM1) | A型(25.4mm) | 5 | m | | | |
| 1種金属線び(MM1) 付属品 | A型(25.4mm) 2個用スリットナット | 3 | 個 | | | |
| 蛍光灯移設 | | 1 | か所 | | | |
| 根切り(人力) | | 0.1 | m ³ | | | |
| 埋戻し | 人力 根切り土 | 0.1 | m ³ | | | |
| (アスファルト舗装) | | | | | | |
| アスファルト舗装 | A-5-15 密粒 クラッシュラン 500m ² 未満 | 1.4 | m ² | | | |
| (取り壊し) | | | | | | |
| カッター入れ | | 6 | m | | | |
| アスファルト舗装取り壊し | | 0.1 | m ³ | | | |

直接工事費細目別内訳

| 機械設備工事 | | 冷暖房設備(泉小) | | 配管設備 | | |
|----------------------------|-----------------------------------|-----------|----|------|----|----|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 冷媒管 | 9.5 / 15.9 | 16 | m | | | |
| 冷媒管 | 9.5 / 22.2 | 18 | m | | | |
| 冷媒管 | 15.9 / 28.6 | 16 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 屋内一般 25A | 12 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 屋内一般 30A | 9 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 地中配管 40A | 6 | m | | | |
| カーVP | 屋内一般 30A | 2 | m | | | |
| カーVP | 屋内一般 50A | 1 | m | | | |
| 冷媒管 保温 | グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 125A | 50 | m | | | |
| ドレン用逆止弁 | 30A | 2 | 個 | | | |
| アルミ補取付 | 寸法 700W×600H 厚さ 3mm ガラス撤去共 | 1 | か所 | | | |
| 機械はつり(パイプバンドカッターによる配管用貫通口) | 200mm程度 100mm | 1 | か所 | | | |
| 雨水桧接続 | 40A | 1 | か所 | | | |
| 雨水立桧接続 | 100A | 2 | か所 | | | |
| 配管支持金物 | L型ブラケット 310×210 SUS L-3×40×40 | 12 | か所 | | | |

直接工事費細目別内訳

| 機械設備工事 | | 冷暖房設備(泉小) | | 配管設備 | | |
|----------------|---|-----------|----------------|------|----|----|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 鉄板穴明 | 100 | 1 | か所 | | | |
| 養生(内部改修) | 個別改修 | 137 | m ² | | | |
| EM-CEE-Sケーブル | 1.25mm2- 2C ビット・天井 | 64 | m | | | |
| EM-CEE-Sケーブル | 1.25mm2- 2C 管内 | 5 | m | | | |
| 1種金属線び(MM1) | A型(25.4mm) | 5 | m | | | |
| 1種金属線び(MM1)付属品 | A型(25.4mm) 2個用スリッパックス | 3 | 個 | | | |
| 根切り(人力) | | 0.2 | m ³ | | | |
| 埋戻し | 人力 根切り土 | 0.2 | m ³ | | | |
| (アスファルト舗装) | | | | | | |
| アスファルト舗装 | A-5-15 密粒 クラッシュラン 500m ² 未満 | 2.4 | m ² | | | |
| (取り壊し) | | | | | | |
| カッター入れ | | 11 | m | | | |
| アスファルト舗装取り壊し | | 0.1 | m ³ | | | |
| 計 | | | | | | |

